

会議録

会議の名称	西東京市文化財保護審議会 平成25年度第3回会議
開催日時	平成25年11月19日（火曜日）午前9時30分から正午
開催場所	市内視察（下野谷遺跡、田無神社、小宮家住宅、郷土資料室）の後 郷土資料室にて審議会
出席者	委員：鈴木委員、石井(則)委員、石井(正)委員、近辻委員、都築委員、山下委員 事務局：山本課長、吉田係長、亀田文化財保護専門員
議題	<ol style="list-style-type: none"> 1 市内文化財視察 <ol style="list-style-type: none"> (1)下野谷遺跡、田無神社、小宮家住宅（主屋）、郷土資料室 2 協議事項 <ol style="list-style-type: none"> (1)視察を通しての意見交換 (2)登録文化財制度など今後の協議事項について 3 報告事項 <p>下野谷遺跡について 西東京市文化財保存・活用庁内検討委員会について 文化財事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・埋蔵文化財事業 ・その他の文化財事業 4 その他 <p>次回会議日程について</p>
会議資料の名称	資料1 視察資料 資料2 登録文化財制度について 資料3 下野谷遺跡の現状について 資料4 埋蔵文化財調査一覧（H25.8.3～H25.11.18） 資料5 文化財事業一覧（H25.8.3～H25.11.18） 資料6 「東京文化財ウィーク2013」について その他の資料 文化財保護審議会委員名簿 文化財マップ 下野谷遺跡パンフレット 田無神社パンフレット 郷土資料室パンフレット シンポジウム「幻の民族学博物館」当日配布資料 みんなの生涯学習113号
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録

会議内容

市内文化財の視察

マイクロバスにて保谷庁舎から移動。
車中ならびに各視察場所にて事務局（亀田文化財保護専門員）が解説を行う。

1. 下野谷遺跡

石神井川を眼下に見下ろす広い台地上に集落が広がる立地を確認。
遺跡公園の整備状況を確認。
縄文時代中期の双環状集落。関東での有数の規模を持つ。西側集落に関しては、現況が遺跡公園、畑地、空き地、低層住宅となっており、集落がおおかた保存されている可能性が高いことから、今後、将来にわたる保存のため、国の史跡指定を目指したい。

2. 田無神社

東日本大震災での被災状況と修復後の本殿・拝殿を確認。あわせて、野分初稲荷も視察。
田無村の鎮守であり、本殿の彫刻は嶋村俊表。
修復工事は、拝殿と本殿覆い屋の切り離し工事、本殿のゆがみ修正と基壇修復、拝殿の墓股の修復を主なものとする。
修復工事により基壇の構造ならびに本殿の木組みなどが確認できた。基壇は本殿よりも以前に作られたことが基壇東側に刻まれている。
元来、石の柱とロームを主体とした土の中込めにより支えられていたが、修復工事により、鉄筋をまき、中に元来の土を戻す形にした。その工事の際、鎮め石とかんがえらえるものが発見された。その石にはしみ状のものがあり、元は建造物の基礎石でないかと考える。その大きさは、野分初稲荷の柱と一致する。野分初稲荷は、現状では市内最古の木造建造と考えられる（鈴木委員補足説明）。

3. 小宮家住宅

平成25年3月29日に国登録有形文化財（建造物）に登録。
設計は遠藤新で、典型的なデザインが多く配されている。保存状況は極めて良好。設計者。工事施工者を記した棟板も残っており昭和12年の建造物。
現在も個人住宅として使用されているため、今後の管理、公開等になどについて、慎重に考える必要がある。
古い写真や折口信夫の書などを見ながら所有者と歓談。

4. 郷土資料室

市内に西端に位置する立地、廃校となった小学校の跡地を利用した施設の状況などを確認。
展示物、展示方法などを確認。
開催中の企画展（東京文化財ウィーク2013企画事業）「写真展 西東京市の魅力再発見」を見学。ボランティアの「西東京市の歴史を守る会 写真班」の皆さんとも歓談。

協議

視察時間が押してしまったため、次回に持ち越し。

報告

○事務局：

(1) 下野谷遺跡の現状について

下野谷遺跡に関しては、遺跡公園の両隣の所有者が7月に急逝し、相続が発生している。今後売買される可能性が高く、遺跡の保護について、10月3日に文化庁にその価値も含めた確認と現状説明に行った。

文化庁の遺跡の価値の認識は非常に高く、それを受け市としてどのような進め方をするかを検討中である。

元々、平成26年度、27年度に文化財の保存・活用計画を策定することになっており、その中で下野谷をどう活用していくかを検討する予定だったが、今回の相続にあたって、急きょ前倒しで、庁内の検討委員会を立ち上げた。この検討委員会は文化財だけに限らずまちづくりを視野に入れるもので、そのような関連箇所も名を連ねている。

検討委員会の役割は、計画策定に向けての庁内調整と、下野谷遺跡に関する課題の整理になる。このように、調整が始まっていることをご報告したい。(2) 西東京市文化財保存・活用庁内検討委員会についてはこのような現状にあることをご理解いただきたい。教育委員会、市長部局が連動し、市の重要な課題として動き出している。

○都築委員：

緊急を要する案件と考えられるが具体的にどのようなスケジュールで動くのか。

○事務局：

遺族には直接話を聞いているが、亡くなられた所有者の遺志は公的な活用。遺族も基本的にはそれに沿っている。現在、相続税などの計算、調整中なので、それに対応しながら考えていきたい。当面の柱は庁内検討委員会になる。

○石井委員：

所有者の方々もそのようなご意向をおもちならば、ぜひ、市川市など、長期の計画を立てて指定を行っているところなどを参考に、進めていただきたい。

(3) 文化財事業について

○事務局：

資料を参照してください。

東京文化財ウィーク2013に関しては、第7回縄文の森の秋まつり、シンポジウム「幻の民族学博物館」など、委員の方々のお力も借り、大成功に終わった。

全ての事業を市民との協働で行っている。感謝しているし、今後ものこのような形で進めていきたい。

その他

○事務局：

次回の会議は1月17日（金曜日）を予定。

○鈴木会長：

以上で本日の会議を終了する。